組合ニュース

WWU

第　１　５　１　３　９　号
２０１７年３月７日(火)
新日鐵住金和歌山労働組合
組　織　教　宣　部

WAKAYAMA WORKERS' UNION

代表内線番号　和歌山地区(本部)　(54)-3590　堺地区　652990　海南地区　(54)-5555
組　合　Ｈ　Ｐ　http://nssmwu.jp/

第８回中央委員会報告

【日時】2 月 28 日（火）8 時 30 分～9 時 35 分
【出欠】出席 82 名、欠席 11 名、出席率 88.1%
【議長】藤本氏

１．報告事項

(1) 上部団体会議報告
・第 7 回中央執行委員会報告
・中央労使協議報告

(2) 2017 年度第 2/四半期決算報告並びに会計監査報告

(3) 箇所労使協議報告

【臨時経営委員会・労使協議会】

議　　題　鋼管塗覆装工程における日鉄住金防蝕㈱への一元化について
日　　時　2017 年 2 月 9 日
議事概要（要旨）

＜会社＞

・塗覆装工程において、2012 年、環境対応および端面防蝕・皮膜密着度の向上等、従来の規格を一層厳格化する新 JIS 規格が制定され、今般、主要需要家である国内ガス会社が 2018 年からの当該規格の適用を決定し、今後、更なる適用拡大も想定される状況となった。
・その対応には鉄鋼製造とは異なる分野の専門性が求められるため、会社としてもその着実な実行に向け、これまで検討を重ねてきた。
・その結果、塗覆装工程において同規格への対応に万全を期すためには、1964 年に、光地区において塗覆装工程の操業を開始して以降、一貫して旧新日鐵の全ての塗覆装工程を担い、専門的技術とノウハウの蓄積がある日鉄住金防蝕を当社グループにおける塗覆装の中核会社として位置付け、一元的に対応していくことが最も効果的であると判断した。この考え方に基づき、次の通り同工程を日鉄住金防蝕が一貫して担う体制を構築する。

◆鹿島製鐵所の塗覆装工程における大阪富士工業への作業委託を終了し、同作業を日鉄住金防蝕（君津）に委託する（2018 年 3 月末予定)。
◆和歌山製鐵所の塗覆装工程と鋼管メッキ工程を合わせて日鉄住金防蝕へ移管する (2017 年 10 月予定)。

＜組合＞

・鉄鋼製造・造管と異なる分野の専門性が求められる塗覆装工程を一元的に担う体制とすることが、鋼管分野の技術・技能を将来に亘り維持・向上させるものとして、その必要性について理解する。
・本施策内容について当該支部と連携を図りながら十分に精査したうえで、後日、会社との話し合いの場をもって質すこととしたい。

議　　題　鋼管塗覆装工程における日鉄住金防蝕㈱への一元化について（その 2)
日　　時　2017 年 2 月 14 日
議事概要（要旨）

＜組合＞

1. 和歌山製鐵所における鋼管塗覆装工程を一元化する背景と考え方について

和歌山製鐵所における塗覆装工程および鋼管メッキ工程について、2015 年 10 月 1 日に日鉄住金ユナイテッド和歌山㈱より直営化されたところであるが、今回の施策に至った背景と移管時期についての考え方を聞いておきたい。

＜会社＞

・当所の塗覆装工程および鋼管メッキ工程については、1997 年には安治川鉄工建設㈱に生産移管され、その後 2002 年には住友鋼管㈱に、2005 年には旧日鉄住金ユナイテッド和歌山㈱に移管された。2015 年 10 月には旧日鉄住金ユナイテッド和歌山の解散にあたり直営化したが、その時点では、塗覆装工程における新 JIS 規格への対応について、その適用時期や内容等が十分に明らかになっていなかったことから、塗覆装工程および鋼管メッキ工程を含めて直営化することと

したものである。これまでの間、当該職場に従事されている皆様には当社の塗覆装およびメッキ事業を支えて頂いており、ご協力とご努力に、改めて感謝申し上げる次第である。

・現在、日鉄住金防蝕は和歌山に拠点がなく、事務所の開設を含めて業務移管を受け入れる体制を整える必要があり、現在、鋭意準備を進めているところである。今回の業務移管は、同工程における現在の人員構成や日鉄住金防蝕での受入体制の準備状況に鑑み、10 月を移管時期として設定した次第である。

＜組合＞

2.塗覆装工程移管に伴う人員措置について

本施策において、塗覆装工程の操業に関わる技術・技能を着実に継承する観点から、日鉄住金防蝕の社員を 2017 年 6 月から受け入れて教育を行い、同年 10 月 1 日以降については、各作業における技能習熟までの必要期間に応じて日鉄住金防蝕へ出向するとしているが、これらの技能習熟計画についてもう少し詳しく聞きたい。併せて、対象者における具体的な出向期間および復職後の人員対応の考え方について聞いておきたい。

＜会社＞

・具体的な出向期間についてであるが、技能習熟すべきポジション数や難易度を踏まえ、技能伝承に必要な期間はポジション毎に異なり、1 年から 5 年と設定した。

・復職後の人員措置についてであるが、今回、教育出向して頂く方々については、必要な技能教育を行ったのち、原則として和歌山製鐵所鋼管部に復職して頂く考えである。

＜組合＞

3. 塗覆装工程の設備管理について

現在、塗覆装工程の設備については直営が保有しており、保全業務についても圧延保全室が担っているところであるが、移管後の設備管理の考え方について詳しく聞いておきたい。

＜会社＞

・本年 10 月には、塗覆装工程および鋼管メッキ工程の操業を日鉄住金防蝕に移管するものであるが、設備保全については当所で担保する考えである。しかし、現在、光地区および君津製鐵所構内にある塗覆装関連設備は日鉄住金防蝕が保有し、操業と設備保全の一元管理のもと、高品質かつ安定した操業を行っているところであり、当所においても、操業・設備保全の一元管理が望ましく、将来的には日鉄住金防蝕に設備も移管する考えである。

＜組合＞

組合として、本施策は鉄鋼製造・造管と異なる分野の専門性が求められる塗覆装工程を一元的に対応出来る体制とすることにより、鋼管分野の技術・技能を維持・向上させるための重要な施策であると認識している。ただし、出向期間中の技能伝承や日鉄住金防蝕の社員を含めた安全管理等に対する、管理者の十分なマネジメントが円滑な業務移管には必要不可欠と考える。

こうした認識のもと、本施策については、当該職場の更なる発展に向けた必要な施策として基本的には受け止めるが、日鉄住金ユナイテッド和歌山の直営化直後の外労化であることから、当該職場のこれまでの経過や対象者の心情を十分に踏まえたうえで、個々人への丁寧な説明を継続するとともに、復職後、新たな職場に就かれる組合員に対する安全管理はもとより、処遇面で不利益とならないよう、十分な配慮ときめ細かな対応を図るよう求めておく。

【経営委員会】

・2017 年 3 月度生産計画について

【事務説明】

・2017 年度和歌山製鐵所および日鉄住金鋼鉄和歌山㈱の基準休日・年休奨励日について

・［堺地区］新独身寮（西住之江寮）の設置について

(4)新日鐵住金健康保険組合 第 14 回理事会・第 13 回組合会報告

①開催日時 2017 年 2 月 8 日(水)

②場　　所 新日鐵住金本社会議室

③議事内容

○第 14 回理事会

・規程変更について

・積立金の運用状況及び今後の運用方針について

○第 13 回組合会

審議事項

・第 1 号議案 平成 29 年度事業計画(案)について

・第 2 号議案 平成 29 年度収入支出予算(案)
・第 3 号議案 款内流用事案(理事長専決処分)の承認について
・第 4 号議案 規約の変更について

報告事項
・平成 28 年度健康チャレンジキャンペーン事業所別参加・達成状況
・健保組合ホームページについて
・情勢報告
(5)年末年始安全強化活動報告
(6)「書き損じハガキの回収活動」取組み結果報告
取組み期間 2016 年 12 月 29 日
～ 2017 年 1 月 27 日
回収結果 481 枚
皆様のご協力ありがとうございました!
(7) 新日鐵住金労連「単組役員研修会」報告
(8) 新日鐵住金労連「第 5 回中央委員会」報告
(9) 基幹労連「第 14 回中央委員会」報告
(10)2017 年「夏期安全ポスター」の募集について
(11)「U・遊シアター」の開催について
(12)3 月度日程について

2. 審議事項
(1) 2016 年 4/四期合理化案件の対処方針に関する件 (案)
【対象職場】
・物流室『和歌山製品物流職場』
・小径製管工場『東ミル製管職場』
・ステンレス製鋼工場『材料職場』
・鋼片工場『圧延職場』

報告事項、12 件異議なく承認
審議事項、1 件満場一致で可決決定

NSGR 和歌山ブロック『2017 年春季交渉研修会』が開催されました

去る 2 月 3 日(金)16 時 00 分から組合会館大会議室において、NSGR 和歌山ブロック主催の『2017 年春季交渉研修会』が開催されました。本研修会は、我々を取巻く情勢や 2017 年春季取組み、また労働組合としての経営対策や安全衛生の取組みなど、和歌山ブロックにおける認識の共有化および連携強化を目的としており、加盟組合の役員 56 名が出席しました。当労組からは池田組合長が和歌山ブロック代表、中濱副組合長が副ブロック代表、山本書記長が事務局長、柳谷執行委員が副事務局長の立場で出席し、他の執行委員および支部機関役員も出席しました。


池田ブロック代表

開会の冒頭、池田ブロック代表から挨拶があり、「我々を取巻く状況や当面の課題、また、上部団体の AP に対する考え方、特に新日鐵住金労連はどのようなスタンスで取組むのか等、しっかり勉強していただき、各組織における今後の交渉に活かしていただきたい」と述べられました。


小寺事務局次長

続いて、研修会講師として出席された NSGR 本部の小寺事務局次長(新日鐵住金労連書記次長)から、「我々を取巻く情勢について」「2017 年春季取組みについて」「労働組合としての経営対策について」「安全衛生の取組みについて」「当面する課題について」の 5 点をテーマに、パワーポイントを用いて詳しくご説明され、参加者からの質問に対しても丁寧な回答をされていました。

最後に、柳谷副事務局長の挨拶により本研修会は無事閉会しました。

当労組は今後も、NSGR 和歌山ブロックの加盟組織としての責任を果たすべく、今次春季取組みにおける最大限の支援を行っていきますので、組合員皆様のご協力をよろしくお願いします。


研修会の様子

2017 年度『組合学校』を開催しました

去る 2 月 11 日(土)9 時 00 分から社員倶楽部 2 階多目的ホールにおいて、2017 年度「組合学校」を開催しました。今回も、我々を取巻く環境をはじめ、会社の経営状況や労使関係について学習するべく、支部長並びに中央委員、青女委員を対象に 145 名が参加されました。

開会挨拶として、当労組の教育推進本部長である谷路副組合長から「この組合学校では、今次春季取組みと当社の経営状況並びに産業政策・政策制度課題を共通認識するとともに、機関役員として、内容の理解と知識を深めて頂きたい」との挨拶がありました。

続いて、労働・購買部の久田労政人事室長を講師としてお招きし、「会社の経営状況」と題して、「2016 年度 3Q 実績・通期見通し」「2017 年当所の課題および取組み」の 2 点についてご説明を受けました。


久田室長

次に、山本書記長からは、「AP17 春季取組みについて」「産業・労働政策中期ビジョンについて」の説明を受けました。連合と経団連の春季交渉資料を用いて、労働組合側の基本姿勢並びに経営側の基本姿勢について解説されました


山本書記長

最後に、民進党和歌山県連代表、そして基幹労連国政フォーラム幹事長でもあります、岸本周平衆議院議員をお招きし、「産業政策・政策制度、生活諸課題への取組みについて」をテーマにご講演いただきました。主に「トランプ政権」「原子力関係」「民進党のこれから」の３点を重点的にご説明されました。


岸本衆議院議員

参加者からは、それぞれの講演内容に対し多くの質問が出され、講師の方々から丁寧な回答が行われるなど、組合学校は大変有意義なものとなりました。

今後も和歌山労組ではこのような研修の場を企画し実施する事で、機関役員の更なるレベルアップを目指していきます。


組合学校の様子

『U・遊シアター』開催のお知らせ

3 月 18 日(土)10 時 00 分から組合会館大会議室において、春休み企画「U・遊シアター」を開催します。

今回は人間が仕事や学校に出かけている間、動物たちはいったい何をしてその一日を過ごしているのか？その素朴な疑問をテーマにした作品「ペット」を上映しますので、ぜひご家族揃ってご参加下さい。



尚、構内への入出時の取り決めに従い、事前に参加者の募集を行っていますので、申し込みをされずに当日お越しいただいても、入構できませんのでご注意下さい。

受付期限は 3 月 13 日（月）迄となっておりますので、各支部にて所定の参加用紙に記入して頂くか、和歌山労働組合へ直接お電話して頂き申し込みをお願いします。

『新規割引契約施設』のお知らせ

当労組と新たに割引契約を提携した施設がありますのでお知らせ致します

1. 施 設 名　本格焼肉 職肉屋
　和歌山市畑屋敷千体仏丁 21-2
　（Tel. 073-423-4129）
2. 利用方法　精算の前に組合員証を提示し割引を受ける
3. 契約料金　飲食代金より 10%割引
　（他割引券使用不可）
4. 提携時期　2017 年 3 月 1 日～